

# 令和7年第1回市議会定例会一般質問一覧表

1 日 時 令和7年3月4日(火) 午前9時30分  
令和7年3月5日(水) 午前9時30分

## 2 質問者 (質問順)

- |               |      |  |
|---------------|------|--|
| (1) 新緑水クラブ    | 100分 | (1 加藤菊信、2 井上正人、3 早川直久、4 磯部秋廣、<br>5 成田佳勉) |
| (2) 市友会       | 20分  | (6 工藤政明)                                 |
| (3) 公明党       | 40分  | (7 井上純一、8 蓑手純一)                          |
| (4) 日本共産党議員団  | 40分  | (9 加藤典子、10 坂 ゆかり)                        |
| (5) 子どもたちに青い空 | 20分  | (11 村瀬進治)                                |

## 3 質問事項、要旨及び項目

質 問 者	1 加藤菊信議員（新緑水クラブ）		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 公道の環境美化と清掃について	1 県道・市道の雨水用集水柵のグレーチングの目が8割近くも詰まっております機能が発揮していないところがある。そのため道路勾配の低い所やコーナー部分に土が集まり、草が生え美観を損ねている。また、街中の内水氾濫リスクにも繋がりがねない。定期的な清掃の必要性について問う	(1) グレーチングの目が細かいものと粗いものがあるが、その使い分けはどうなっているか (2) 市道において定期的清掃が委託されている路線とそうでない路線があるがどういった理由で区別しているのか (3) 地域美化推進事業のように、会計年度任用職員による市内の道路のパトロールとグレーチングの清掃等、土の除去を行ってはどうか	
2 公民館・集会所等の避難所活用について	1 地域住民にとって一番身近な公共施設である公民館・集会所等は現在、避難可能な箇所と一時避難所があるが、最低限の防災用品を揃え、避難所の裾野を広げ、災害の規模に合った避難所の在り方について問う	(1) 台風や局地的豪雨の中での避難や移動のリスクについてどのように考えているのか (2) 避難可能箇所55箇所に毛布・水等の防災用品は行き届いているか (3) 最低限の防災用品を揃え、避難所の裾野を広げてはどうか	
3 市内事業所の自然災害時の対応について	1 令和6年8月8日に発表された南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）における臨海部の大手企業の対応状況及び市内事業所の自然災害時の対応マニュアルの策定状況について問う	(1) 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）において臨海部の大手企業がそれぞれの対応をしたと思うが、どの段階で市はどう把握していたか (2) 本市は昼間人口と夜間人口がほとんど変わらないため、市内事業所が就業中に地震災害が起きれば帰宅困難者をはじめ想定を超える事態が予想される。そこで、市内事業所ごとの対応マニュアルが重要と考えるが、自然災害時の対応マニュアルの策定状況を市はどう把握しているのか	

<p>4 物価高騰の中での補助金の限度額について</p>	<p>1 市の補助金には補助率及び個人や地域団体へ限度額を定めた補助を行っているものがある。物価の高騰が続き高止まりとなっている中、特に地域の町内会・自治会が集会所の建設や大型改修のために、長年積み立ててきた資金では、計画に沿った建設や改修が出来なくなってきている事についての見解を問う</p>	<p>(1) 補助金にはいろいろあるが、どのような考え方で補助率や限度額を決定しているのか  (2) 町内会・自治会等、各種団体への限度額を定めた補助金はどれくらいあるのか。また、今後どのような考え方を持っているのか  (3) 町内会・自治会ごとに集会所整備計画がある中で、町内会等集会所建築費等補助金の限度額を見直す考えはあるか</p>	
<p>5 農産物のブランド化支援について</p>	<p>1 東海市には、蒨、玉ねぎ、洋ランなど特産物はいろいろあり、魅力ある農業を目指し他の産地との差別化を図りブランドとしての農産物を売り出していく必要を感じるが、その支援策について問う</p>	<p>(1) 現在、JAあいち知多では農産物を「知多どれ」ブランドとして売出していこうとしているが、東海市としてどのようなタイアップを考えているのか  (2) 今後「夕焼け姫」を東海市のブランド柑橘としていくうえでの課題と支援策は何か  (3) 「夕焼け姫」等の農産物をふるさと納税の返礼品としていく考えはあるか</p>	

質 問 者	2 井 上 正 人 議 員 (新緑水クラブ)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 医療行政について	1 本市の地域医療において重要な役割の一部を担っている小嶋病院の建て替えが進んでいるが、新病棟完成後の医療機能等について、どのように把握等しているかを問う	(1) 新病棟での診療の開始時期はいつからか。また、診療体制はどのように変更されると把握しているか (2) 新病棟での診療開始後において、知多市の知多小嶋記念病院の医療機能に変更はあるのか。また、知多北部エリアの地域医療体制へどのような影響があると認識しているのか	
	2 学校健診において、教育委員会が東海市医師会と協議し、健診実施の確認事項として作成したチェックリストに基づく確認をしながら実施しているが、一部の医師からは必要に応じて帯同看護師を認めてほしいという声があるが市の考えを問う	(1) 学校健診の体制は子どもたちのプライバシーや心情への配慮の観点からみて十分な対応がされているか (2) 学校医の要請があれば費用負担も含め帯同看護師を認めるべきと考えるが、市の考えはいかに	
	3 平成9年の国の政策により医薬分業が進む現状において、本市の在宅当番医制度を取り巻く環境も大きく変化している。今後の在宅当番医制度を充実させるため、調剤薬局との連携が重要であると思われるが市の考えを問う	(1) 医薬分業が進む状況下において、在宅当番医となる医療機関で処方された医薬品の調剤はどのようになされていると把握しているか (2) 在宅当番医制度をより充実させるため、在宅当番医となる医療機関に合わせて開業している調剤薬局に対して助成を行う等、医療機関と調剤薬局との連携強化を促す必要があると考えるがどうか	

<p>2 フラワーショウについて</p>	<p>1 令和7年の東海フラワーショウ2025は大変盛り上がり斬新なアイデアが多く盛り込まれていて、さすが市制55周年のフラワーショウであった。今後、周年でなくても毎年レベルアップするように実行委員会と進めていって欲しいと思うが、市の考え方を問う</p>	<p>(1) 令和7年のフラワーショウをどのように総括しているか  (2) 過去10年間の東海市花卉園芸組合員数の推移はどのようなか  (3) 「鉄とランのまち東海市」を盛り上げるために、ランの分野において今後どのような方策を考えているか</p>	
<p>3 学校・保育園での共同親権の対応について</p>	<p>1 令和6年5月に、離婚後も父と母双方が子どもの親権を持つ「共同親権」の導入を柱とした民法が改正され、2年後の令和8年までに施行されるが、学校・保育園における別居親に対する市の考えを問う</p>	<p>(1) 市内の学校・保育園における別居親の行事への参加の受け入れ態勢はどのようなか。また、令和6年度に参加を拒否した事例はあるか  (2) 学校・保育園からの配布物を別居親にも配布することは可能か  (3) 別居親も緊急連絡先に登録は可能か</p>	
<p>4 特殊詐欺対策について</p>	<p>1 特殊詐欺の被害が後を絶たず、被害を未然に防いだコンビニの店員や金融機関の職員の報道もあるが、多くの人々が被害にあっている。市としてどのような対策が必要か考えを問う</p>	<p>(1) 過去3年間の市内で詐欺にあった件数及び被害金額はどれくらいと把握しているか  (2) 市や警察等を装い、金銭やキャッシュカード等をだまし取る手口等もみられるが、市民が詐欺にあわないためには市としてどのような対策が有効と考えるか  (3) 最近の特殊詐欺の傾向等について市はどのように考えているか</p>	

質 問 者	3 早 川 直 久 議 員 (新緑水クラブ)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 道路陥没による下水道の調査について	1 令和7年1月、埼玉県八潮市で道路陥没事故が発生し、原因は下水道管の老朽化、腐食によるものと見られる。東海市も令和6年6月、加木屋町で道路陥没が発生したが、八潮市の事故を教訓として今後の対策について問う	(1) 平日夜間や休日の道路陥没等について、土木課ではどのように対応しているか (2) 道路の陥没や路面変状の点検をどのように行っているのか (3) 下水道管の管路点検の調査を早急に実施すべきと考えるがどうか (4) 下水道管の調査の課題は何か。また、今後どのように対応していくのか	
2 公共施設の照明のLED化について	1 地球温暖化対策実行計画(事務事業編)では令和12年度までに二酸化炭素排出量を基準年度から50%削減させるとしているが、その方策について問う	(1) 公共施設での二酸化炭素排出量は電気関連が多いとされているが、蛍光灯の生産が令和9年末までに終了することを踏まえ、公共施設の照明のLED化をどのように計画しているのか (2) 計画している公共施設の照明のLED化により、どの程度、二酸化炭素排出量が削減できる見込みか	
3 河川の維持管理について	1 近年、異常気象の影響により集中豪雨が各地で多発している中、河川の氾濫や護岸の崩壊が懸念されている。河川区域内に茂る草木や土砂の堆積により河川断面の縮小や堤体の弱体化を引き起こすことが考えられるが、市民の安心安全な暮らしを守るため、河川の維持管理について問う	(1) 河川内に繁茂する草木や樹木の維持管理は、地域の環境保全及び防災の観点から非常に重要と考えるが、その取組はどのようなか (2) 令和4年7月に大雨により南加木屋駅付近の大田川護岸が崩壊し、復旧に時間を要したが、早期での災害復旧に向け、河川の現状を把握しておくことが必要と考えるが、その対応はどのようなか (3) 災害対策の推進には、住民一人ひとりが自らの判断で行動する必要もあると考えるが、重要な指標となる河川水位等の情報提供を住民にどのように行っているか	
4 生物多様性の確保について	1 第3次環境基本計画を策定中であるが、現在世界的な課題とされている生物多様性の確保策について問う	(1) 市内に生息する哺乳類、鳥類、昆虫、植物等について、市はどのように把握しているのか (2) 市の自然環境再生拠点として位置づけられた加木屋緑地の生態系をどのように把握しているのか (3) 生物多様性を確保するためには、市全体の生態系の現状把握が必要と考えるが調査を行う考えはあるか	

<p>5 小学校屋内運動場への空調機整備について</p>	<p>1 中学校屋内運動場では、令和4年度から3年かけてプロパンガスを動力源とする空調機整備を進め、令和6年度、全校の設置が完了する。昨今の記録的な猛暑を踏まえると、次の小学校屋内運動場への空調機の整備を早期に実現すべきと考えるが、スケジュールとその内容について問う</p>	<p>(1) 小学校屋内運動場への空調機の整備スケジュールはどのようなか (2) 早期の整備推進に向け、具体的にどのような方法を検討しているのか</p>	
------------------------------	---	--	--

質 問 者	4 磯 部 秋 廣 議 員 (新緑水クラブ)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 教員の授業力向上について	1 子どもたちにとって、学ぶことが楽しいと思えるような授業づくりを推進していくためには、教員の授業力をさらに向上させていくことが重要である。そこで、市内小中学校の教員の授業力向上のための取組について問う	(1) 市内小中学校の教員の授業力の向上に関する方針等はどうか (2) 市内小中学校の教員の授業力を測る判断基準はどうか。また、授業力は向上しているのか (3) 特に経験が少ない教員に対して、授業力のさらなる向上のためにどのような指導や支援をしているのか	
2 中学校の部活動改革について	1 子どもたちのスポーツや文化芸術活動の機会を確保し充実させるための取組として、部活動改革も進められていると思うが、保護者からは、教員の働き方改革のために中学生の活動機会が減少するとの声も聞こえてくる。保護者への周知方法も含めて、本市が行っている部活動改革の取組について問う	(1) 令和7年9月以降の中学校部活動の方針はどうか (2) 中学校の部活動改革に関して児童生徒及び保護者に対する説明はどのように実施しているのか (3) 中学校で休日の部活動は行わず、地域で展開するにあたり、子どもたちのスポーツや文化芸術活動の機会を確保し充実させるための取組はどうか	

<p>3 福祉避難所の整備状況について</p>	<p>1 この地方においても甚大な被害が予想されている南海トラフ地震がいずれ発生するとされる中、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が令和6年8月に発表された。その後の地震活動の観測がないとして終息しているが、災害に対する備えへの不安が高まる状況において、避難行動や避難生活への支援が必要な住民に対する、福祉避難所整備等の状況について問う</p>	<p>(1) 高齢者や障がい者及び外国人等の要支援者への個別支援計画の策定状況はどのようなか  (2) 本市の現在の福祉避難所の数と収容可能者数はどのようなか  (3) 今後の福祉避難所の整備計画等の展望はどのようなか</p>	
<p>4 マイナンバーカードの対応について</p>	<p>1 マイナンバーカードは平成28年1月の制度開始から10年が近づき、本市の8割を超える市民が所有している。また、住民票等証明書のコンビニ交付や各種オンライン申請、マイナ保険証として活用できる等、日常生活において必要なカードとなってきた。このような状況の中で、マイナンバーカードの更新時期を迎える市民が増えてきていることから、市としての対応について問う</p>	<p>(1) マイナンバーカードの更新についてどのように対応しているのか  (2) 市民への周知方法はどのようなか  (3) 今後のマイナンバーカードの制度改正について把握しているか</p>	

質 問 者	5 成 田 佳 勉 議 員 (新緑水クラブ)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 教育支援センターの充実について	1 令和6年度から新たに設置された教育支援センターの「ほっと東海」平洲中学校教室において、中学校の敷地内に設置されているにもかかわらず、給食を食べることができないという課題がある。平洲中学校教室に通う児童生徒への給食提供について問う	(1) 「ほっと東海」平洲中学校教室において、給食提供ができない理由は何か (2) 「ほっと東海」平洲中学校教室での給食提供の必要性をどのように考えているか (3) 今後、給食提供が可能となるような方策は検討しているか	
	2 現在、「ほっと東海」平洲中学校教室では、他校区の児童生徒でも入級することが可能となっているが、保護者の送迎が必要で通うことが難しい児童生徒もいる。教育支援センターの拡大について本市の考えを問う	(1) 教育支援センターの入級者数の過去5年間の推移はどのようなか (2) 幅広い子ども達を支援するために、まずは教育支援センターが全中学校に必要と考えるが、本市の考えはどのようなか	
2 若者の活動機会や居場所づくりについて	1 近年、スケートボードやBMX等の活動をする若者が増加している。オリンピック競技にも採用される中で、競技人口の増加や興味を持ち活動する人の増加は今後も想定される。現状、駅周辺等で活動する若者が多く、騒音等を問題視する声もあることから、若者が活動できる機会や居場所の整備について問う	(1) 市内にスケートボードやBMX等の活動ができる場所はどれくらいあるか (2) スケートボードやBMX等の活動による騒音等の苦情件数はどのようなか (3) 若者の活動機会や居場所づくりとして、スケートボードパーク等の環境整備が必要と考えるがどうか	

<p>3 医療的ケア児の受け入れについて</p>	<p>1 令和5年度から開始した医療的ケア児の受け入れは、インクルーシブ保育の視点からも必要な対策と考える。利用する子ども達をはじめ、保護者や保育士にとっても、より有意義で寄り添ったものとなるための、本市の医療的ケア児の受け入れ体制と今後の方針について問う</p>	<p>(1) これまでの受け入れ実績と利用者の声及び令和7年度の受け入れ予定人数はどのようなか  (2) 受け入れ園の体制づくりや、保護者と保育士双方への配慮等、市としての今後の課題は何か  (3) この制度を必要とする方への幅広い受け入れ体制の整備が必要と考えるが、今後の市の考え方はどのようなか</p>	
<p>4 尾張横須賀駅周辺整備について</p>	<p>1 令和7年5月に創造の杜交流館の開館を控え、尾張横須賀駅周辺にも新たな賑わいの創出が期待される。都市計画道路横須賀駅西通線の開発もそれに連動した計画の一つであると思うが、さらなる賑わいの創出や地域活性化のための駅西の広場の整備計画について問う</p>	<p>(1) 都市計画道路横須賀駅西通線の進捗状況はどのようなか  (2) 尾張横須賀駅は創造の杜交流館や尾張横須賀まつりへの結節点として人の流れが期待されるが、その顔である駅西の広場について、エスカレーターのある既存の広場との一体的な整備をどのように考えているか</p>	
<p>5 生活環境の改善について</p>	<p>1 市の設定する降下ばいじん量のめざそう値に対して南部地区の降下ばいじん量の数値が高く、以前と比べ数値は減っているものの、市民から生活環境が改善されていないとの声もあることから、本市の降下ばいじん対策について問う</p>	<p>(1) 直近の南部地区の降下ばいじん量はどのようなか  (2) 令和5年度末において、南部地区の降下ばいじん量が増加した要因をどのように分析しているか  (3) 日本製鉄(株)名古屋製鉄所の防風フェンス建設等、臨海部企業の降下ばいじん対策及びその効果について、どのように把握しているか</p>	

質 問 者	6 工 藤 政 明 議 員 (市友会)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 災害に強いまちをつくる取組について	1 令和7年1月15日に国の特別調査機関である地震調査研究推進本部は、活断層及び海溝型地震の長期評価結果一覧を公表し、南海トラフ地震の30年以内発生確率値を80%程度に引き上げた。これにより、南海トラフ地震に対する市民の関心は更に高まっていると想像する。南海トラフ地震の発生確率及び地震に関連する情報について、本市の状況と考えを問う	(1) 公表された地震発生確率値の算出方法及び引き上げた理由をどのように把握しているのか (2) 30年以内とは何時から何時までを指しているのか。また、10年以内及び50年以内の地震発生確率値をどのように把握しているのか (3) この度の引き上げを受けて、市民へ大地震から身を守るための注意喚起等の周知・啓発を改めて行う必要性をどのように考えているのか	
	2 災害により被害を受けるおそれのある者、または被災者が避難生活を送るために開設される拠点避難所の運営について、本市の状況と考えを問う	(1) 避難所を運営するために必要な手引書等の作成はどのように進められているのか。また、避難所運営の役割分担はどのように定められているのか (2) 比較的多くの被災者等を受け入れることが可能な高等学校避難所の開設を市ホームページで大規模災害発生時としている理由はどのようなものなのか。また、大規模災害とはどのような災害が想定されているのか (3) 過去の大規模災害発生時の避難行動の一つとして、自動車を避難所とする車中泊避難を選択した被災者も多いと聞くが、市民へ車中泊避難の留意点等の周知を行う必要性をどのように考えているのか	

	<p>3 災害に備えて防災倉庫に備蓄されている災害用物資について、本市の状況と考えを問う</p>	<p>(1) 備蓄している災害用物資の種類及び量はどのような根拠に基づいているのか。また、物資の状態は誰がどのように管理しているのか</p> <p>(2) 災害対策基本法等を改正し、地方自治体に災害用物資の備蓄状況の公表を義務付ける動きがあるが、本市の災害用物資の備蓄状況の公表はどのように進められているのか</p> <p>(3) 災害用物資は備蓄することだけでなく、市民が実際に災害用物資を使って、慣れることが重要と考えるが、そのような機会を設ける必要性をどのように考えているのか</p>	
<p>2 水道水の安全安心を確保する取組について</p>	<p>1 水道水が水質基準に適合し、安全で安心な飲料水として供給することができる水質を確保する取組について、本市の状況と考えを問う</p>	<p>(1) 本市の水道水の供給元である愛知県営水道が実施している水源及び浄水場の水質検査の状況をどのように把握しているのか</p> <p>(2) 本市は供給された水道水の水質検査をどのように行っているのか。また、愛知県営水道の水質検査とどのような関連があるのか</p> <p>(3) 愛知県営水道もしくは本市の水質検査で不適合もしくは不適合となる恐れが生じた際の対応策はどのように定められているのか</p>	
<p>3 観光基盤充実と交流推進向上の取組について</p>	<p>1 本市または本市の外郭団体等が主催者となり季節毎に開催しているイベントを充実させる方策について、本市の状況と考えを問う</p>	<p>(1) 知多半島観光圏協議会との関わり及び活動内容はどのようなものなのか</p> <p>(2) 本市が市民に期待する、おもてなしの心の醸成とは、どのようなものなのか。また、効果や課題は整理されているのか</p> <p>(3) 企業や団体等からイベント開催費用の協賛を募るものと募らないものがあるが、その違いをどのように把握しているのか</p> <p>(4) 市内宿泊者に課税する宿泊税を導入し、観光財源を確保する必要性をどのように考えているのか</p>	

	<p>2 本市の地域資源の評価では、認知度や観光資源の可能性が高いキーワードとして、聚楽園・大仏、イベント・公園が掲げられている。キーワードの全てを備え持つ聚楽園公園について、本市の状況と考えを問う</p>	<p>(1) 令和5年度の聚楽園公園の観光地点等入込客数をどのように把握しているのか  (2) 園路及び階段並びにトイレ等園内施設の劣化状況をどのように把握しているのか。また、劣化補修の整備計画を立案する必要性をどのように考えているのか  (3) 令和3年度以降のキャンプ場の利用客数の推移はどのような状況なのか。また、ペット(動物)の連れ込み行為を認める必要性をどのように考えているのか  (4) 最寄り駅である名鉄聚楽園駅の利便性向上を狙い、トイレの洋式化及び急行列車の停車を鉄道事業者へ要望する必要性をどのように考えているのか</p>	
<p>4 多文化共生の社会をつくる取組について</p>	<p>1 愛知県と愛知県国際交流協会が多文化共生の社会をつくる取組の一つとして進めている、外国人児童生徒の日本語学習支援を目的とした日本語学習支援基金について、本市の状況と考えを問う</p>	<p>(1) 本市の総人口に対する外国人住民の割合をどのように把握しているのか  (2) 本市の外国人住民割合を愛知県内の市町村と比較した場合、どのような状況なのか  (3) 日本語学習支援基金の造成の内容及び事業実績並びに基金が助成認定した事業事例をどのように把握しているのか。また、市内の事業実績はどのようなものがあるのか  (4) 市内に拠点を置く企業や団体等に基金への理解や協力を呼び掛ける必要性をどのように考えているのか</p>	

	<p>2 オーストラリアに渡航し現地で体験する学習を通じて、自覚と責任感を養い人間的な成長を促すことを目的として、中学校1・2年生を対象に実施している海外体験学習事業について、本市の状況と考えを問う</p>	<p>(1) 他の地方自治体が開催する同様の海外体験学習事業をどのように把握しているのか</p> <p>(2) 海外体験学習事業を始めた理由及び事業計画はどのようなものか。また、これまでに実施した効果及び問題点並びに課題はどのように整理されているのか</p> <p>(3) 参加者の自己負担額が定められているが、自己負担を求める理由及び額の根拠はどのようなものなのか。また、参加者の出願への意欲を高め、自覚と責任感を養うことを狙い、参加者の自己負担を縮小もしくは廃止する必要性をどのように考えているのか</p> <p>(4) コロナ禍により事業実施の見合わせが続いているが、事業の再開を仮定した場合の事業費はコロナ禍以前に比べどのように変動すると考えているのか。また、今後の海外体験学習事業の在り方をどのように考えているのか</p>	
--	---	--	--

質 問 者	7 井 上 純 一 議 員 (公明党)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 こども未来会議での提案への対応について	1 「夏、暑すぎて外で遊べない」ので、子どもたちがいつでも安全に体を動かして遊べる施設の整備についての提案があった。そこで、本市の今後の取組について問う	(1) 小学生の最も身近な屋内運動施設である本市12小学校の体育館のエアコンの設置計画はどのようなか	
	2 「気軽に相談ができる快適なまちを」と題し、福島県国見小学校の「困りごと相談BOX」のような気軽に相談できる窓口の学校現場への設置について提案があった。そこで、本市の取組について問う	(1) 本市では、児童生徒が気軽に相談や提案できるよう、どのような工夫をしているか (2) 児童生徒全員が一人一台使用しているタブレット端末上に気軽に相談できる窓口を設置すべきと考えるがどうか	
	3 「東海市を事故の少ない市に」と題し、信号機のない横断歩道を歩行者が安全に渡ることができるように、ドライバーに注意を促す仕組みの設置の提案があった。そこで、本市の取組について問う	(1) 試験設置の結果を検証し、今後、東海警察署と連携して、市内の信号機のない危険な横断歩道への設置拡大を検討すべきと考えるがどうか	
	4 「ペットと幸せに暮らせるまち東海市」と題し、災害時のペット同行避難のガイドブック作成を求める提案があった。そこで、本市の取組について問う	(1) 本市のペット同行避難に関する取組はどのようなか (2) 本市もペット同行避難ガイドブックを作成すべきと考えるがどうか	

	<p>5 「安心できる避難所の設置を」と題し、台湾・花蓮市を参考に質の高い避難所の整備を求める提案があった。そこで、本市の避難所運営の質の向上について問う</p>	<p>(1) 避難所運営の中で重要なTKBのK(キッチン、食事)に関して本市の取組状況はどのようなか  (2) 温かい食事の充実に向け、キッチンカー事業者との連携を図れるよう災害協定の締結を検討してはどうか  (3) 災害で心に傷を負った子どもたちのメンタルケアのために、避難所にキッズスペースの設置を検討すべきと考えるがどうか</p>	
--	---	--	--

質 問 者	8 蓑手純一議員 (公明党)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 認知症施策推進基本計画について	1 令和6年12月に政府は、認知症施策推進基本計画を閣議決定した。この基本計画では、認知症に対する考え方として、認知症になっても住み慣れた地域で希望をもって暮らし続けられるという「新しい認知症観」を提唱し、認知症に関する理解の増進や社会参加の機会確保等を目指している。今後、国の認知症施策推進基本計画を本市の取組に反映する考えについて問う	(1) 認知症施策推進基本計画の基本的な方向性と推進体制はどのようか (2) 認知症予防施策として具体的なプログラムや活動状況はどのようか (3) 共生社会の実現に向け、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組はどのようか (4) 今後、本市として認知症施策推進基本計画に沿った「新しい認知症観」の取組をどのように考えているのか	
2 道路の地中空洞化について	1 令和7年1月に埼玉県八潮市の県道で発生した大規模な道路陥没の原因は、腐食した下水道管が破損して管の中に土砂が流れ込み、地中に空洞ができたためとみられている。幹線道路の地中にはガス管、通信ケーブル、電力ケーブル、上水道、下水道等、様々な埋設物が布設されているため、八潮市のような道路陥没が起きればインフラの遮断にもなりかねない。このような災害を未然に防ぐためにも、市内の幹線道路等の地中の空洞化を調査する考えについて問う	(1) 市内で過去3年間に発生した道路陥没の件数及び主な原因はどのようか (2) 道路陥没を未然に防ぐための対策はどのようか (3) 道路の空洞化調査を行う場合、緊急輸送路を優先に地中の空洞化を調査する考えはどのようか	

質 問 者	9 加藤典子議員（日本共産党議員団）		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 不登校対策について	1 令和5年度の不登校児童生徒数は全国で約34万人であり、近年では年4～5万人ずつ増加している。本市でも不登校児童生徒は令和6年4月から12月だけでも小学校に116人、中学校に227人いる。平成28年に通称「教育機会確保法」が制定され、本市においても取組が進められてきたと考えるが、不登校児童生徒数に見合う対応が取れる本市の体制づくりについて問う	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 学校に通えない児童生徒が増えている現状をどのように受け止めているか</li> <li>(2) 不登校児童生徒への支援についての法律「教育機会確保法」ができたことで、学校はどう変わったか</li> <li>(3) 学校現場では「児童生徒と向き合う時間」をどう作っているか</li> <li>(4) 学校に通えない児童生徒の「学びの保障」はどのように行っているか</li> <li>(5) 不登校児童生徒の居場所は、保健室や、ほっと東海があると考えるが、そこへ来ていない場合の居場所はどのようなか</li> </ul>	
	2 児童生徒が学校に通えなくなったことをきっかけに、保護者も悩み、子どもとの適切な距離を保つことができずに家族関係が悪化する場合がある。保護者や児童生徒だけで悩まずに、すぐに相談できる場所を把握できるような案内や、相談を通じて心のケアができる体制の充実が必要と考えるため、本市の取組を問う	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 学校から相談場所及び方法についての案内をどのように行っているか。また、保護者及び児童生徒に一層分かりやすく案内を行う工夫をするべきと考えるがどうか</li> <li>(2) 学校に通えない児童生徒と保護者への心のケアをどのように行っているか</li> <li>(3) スクールカウンセラーを常時小中学校に配置し、児童生徒の悩み相談を受けるべきと考えるがどうか</li> <li>(4) スクールソーシャルワーカーを各小中学校に1人ずつ配置し、いつでも相談できる体制をつくるべきと考えるがどうか</li> </ul>	

<p>2 学校給食費の半額補助について</p>	<p>1 物価の高騰は、市民の暮らしを脅かし、実質賃金は下がる一方である。憲法では教育の無償化が位置付けられており、未来を担う子どもたちの成長を保障するための一環として、学校給食の無償化が広がってきていると考える。和歌山県では県と市町村が連携し給食費無償を実施することで、子育て家庭を支える体制ができています。子どもたちの成長を保障するため、学校給食費の補助について本市の考えを問う</p>	<p>(1) 国の給食費無償化に関する実態調査の結果を踏まえて、国に対して無償化の実施について要望等を行なっているか  (2) 和歌山県のように、愛知県に対して学校給食費半額補助の実施を求める考えはないか  (3) 市として学校給食費半額補助の実施について検討する考えはないか</p>	
<p>3 公共交通の充実について</p>	<p>1 らんらんバスのダイヤ・ルートが令和6年10月に再編されたが、市民から便利になったという声はあまり聞かず、特に「乗り継ぎが悪い」との声を聞く。今後、車に乗れない、乗らない高齢者がますます増加するため、市内の移動をらんらんバスだけでなく、知多バスやデマンド交通を組み合わせる等、誰もが気軽に外出できるよう、本市の公共交通政策について問う</p>	<p>(1) 市民から「乗り継ぎが悪い」等の苦情は届いているか  (2) 市民アンケート等で公共交通についての意見を聞く予定はあるか  (3) 知多バスに市が補助する等、市内利用をらんらんバスと同じ100円で利用できるようにすべきと考えるがどうか  (4) デマンド交通を市内各地域で実施する検討はされているか</p>	

質 問 者	10 坂 ゆ か り 議 員 (日本共産党議員団)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 国民健康保険税について	1 国民健康保険税は全国健康保険協会(協会けんぽ)等の被用者保険と異なり、生まれたばかりの赤ちゃんに対しても均等割額がかかることから、子育て世帯には大きな負担となっている。本市の国民健康保険税の軽減策について問う	(1) 現在、国において、未就学児に係る国民健康保険税の均等割額を半額軽減する措置が実施されている。子育て世帯への支援策として、市独自で均等割額の軽減措置を18歳まで拡充する考えはあるか	
	2 2023年の通称「マイナンバー法等の一部改正法」で被保険者証の新規発行が廃止されたことに伴い、国民健康保険税の滞納者に対して発行されていた短期被保険者証(短期保険証)も廃止された。そのことによる対応について問う	(1) 短期被保険者証が廃止されたことによる国民健康保険税滞納者への対応はどのようなか	
2 インフラの維持管理について	1 埼玉県八潮市で2025年1月28日に発生した下水道管の破損によるとみられる道路陥没事故は、インフラの老朽化がもたらす危険や住民への影響の大きさを明らかにした。本市の現状及び対策について問う	(1) 市内における道路の陥没事故の発生件数の直近3年間の推移はどのようなか (2) 道路の陥没事故の主な要因はどのようなか (3) 国土交通省は全国の自治体に対して下水道管の緊急点検の指示をしたが、本市の現状はどのようなか	

3 平和行政について	1 2025年は被爆80年、戦後80年の節目の年にあたるが、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けた取組の重要性は、従来にも増して大きくなっていることから、2025年の本市の平和行政について問う	(1) 広島・長崎への原爆投下から80年、第二次世界大戦終結から80年の節目の年となる2025年に、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けた取組として非核平和宣言をする考えはあるか (2) 2025年1月に第12回平和首長会議国内加盟都市会議総会が東京都武蔵野市で開催された。平和首長会議に加盟する自治体として、どのように被爆80年の取組を考えているか	
4 降下ばいじん対策について	1 第7次東海市総合計画では、降下ばいじん量のめざそう値を2022年度の基準値である1平方キロメートル当たり月3.3トンから2028年度は月3.2トン、2033年度は月2.9トンに設定されたが、南部の観測点では、めざそう値の3倍を超える値が測定された月もあることから、降下ばいじん対策について問う	(1) 降下ばいじん対策検討会は、県、市及び鉄鋼3社の環境担当部署の担当者が集まり開催しているが、どのような頻度で行っているか (2) 南部の測定点では、めざそう値の3倍を超える値が測定された月もあることから、住民の生活環境を保全するためには、最大値を低減する目標を設定する必要があると考えるがどうか	

質 問 者	11 村 瀬 進 治 議 員 (子どもたちに青い空)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 公害防止の取組について	1 約60年前から続いていると考える、ばいじん、悪臭、騒音、二酸化炭素及び巨大火柱等による環境の悪化により、住民が多大な被害を被っているが、近年、目に見える改善が図られていないことから、県、市及び鉄鋼三社と締結している公害防止協定に基づく、対策の実効性に疑問が生じている。そこで、現在の被害状況についての市の認識及び今後の対策の考え等を問う	(1) 大同特殊鋼株は2025愛知環境賞において金賞を受賞し、二酸化炭素削減技術が大きく評価されているが、日本製鉄株名古屋製鉄所における最新の二酸化炭素削減量の把握状況はいかに (2) 降下ばいじん問題について、愛知県、東海市及び鉄鋼三社と市民との話し合いの実施を求めたが、市として応じなかった理由はいかに (3) 降下ばいじんの発生原因者の一つであると考えられる日本製鉄株名古屋製鉄所は、市内6団体と話し合いを行っているとのことだが、その団体名をどのように把握しているか。また、各団体からの公害に関する意見について把握状況はいかに (4) 現在までの市内の幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校及び大学における降下ばいじん被害の把握状況はいかに (5) 公立西知多総合病院周辺及び加木屋町北社山地区の降下ばいじんに関する苦情及び被害の把握状況はいかに (6) 事業規模から日本製鉄株名古屋製鉄所からのばいじん排出が非常に多いと思われる。排出原因者の特定のための製鉄所構内のばいじんの提供、成分分析結果の報告等が受けられない現状について、問題であると考えるが、市の考えはいかに (7) 本市のばいじん公害が、市民の安心安全を脅かしている中で、降下ばいじんの多い市南西部地域の調査を一度も実施していないことについて、市長の見解はいかに。また、今後、実施する考えはいかに (8) 東海製鉄株の操業開始当初は、短期間、市民に対して減税が実施されたと聞いているが、その内容はいかに。また、現在もばいじん公害はなくなっていないことから、早急に同様の減税または損失補償を市の責任で実施するべきであると考えがいかに (9) これまでの市役所職員及び市役所職員OBからのばいじん公害についての苦情や報告の件数及び内容はいかに	

		<p>(10) ばいじんが目に入ることは、健康に悪影響を及ぼすと考えるが、市に対し、目や口を保護するためのゴーグル、マスク等の市民への提供を要請したが対応はいかに</p> <p>(11) 地元新聞に東海市と知多市の降下ばいじん量の月平均値に関する記事が掲載され、東海市に比べて知多市の数値が高かったが、本市の記事に対する見解はいかに</p>	
2 緑陽コミュニティセンター内の空調について	1 緑陽コミュニティセンターの体育室には4馬力の空調機を4台設置する計画であり、設置場所を中二階に上げると設置費用が約2,200万円かかる。一方で床置きの場合、設置費用が約200万円となることから、中二階を設置場所とした理由及び設置内容について問う	(1) 緑陽コミュニティセンター体育室への空調機設置は、1階床置きとすることで予算を節減し、約200万円の経費で設置すべきと考えるがいかに	
3 市長と市民が語る会の実施について	1 本市の2代目の市長である久野元市長が行ってきた「市長と市民が語る会」について、前市長から現在の市長に至るまで24年間実施していない。市民が主役のまちづくりを行う上で、速やかに「市長と市民が語る会」を実施すべきであると考えているが、市の考えを問う	(1) 加入率が低下している町内会、自治会等との意見交換では、市民からの意見聴取は十分でないと考えているため、速やかに「市長と市民が語る会」を実施する考えはいかに	

<p>4 高横須賀町城山地区の防犯灯設置について</p>	<p>1 高横須賀町城山地区には、多くの車や高校生等が通行する道路があるが、防犯灯が設置されていないことから夜間真っ暗となり、非常に危険である。長年にわたり防犯灯の設置を求めてきたが、防犯灯を設置すると通行量が増加し、ごみの量が増える及び直近1年半の間に事故等が起こっていないことを理由に防犯灯を設置しないと聞いているため、防犯灯の設置に対する市の考えを問う</p>	<p>(1) 高横須賀町城山地区の道路は、現在もなお利用する車等が多数あり、非常に危険であることから安全対策として防犯灯を速やかに設置するべきであると考えているが、市の考えはいかに</p>	
<p>5 中ノ池地区への投票所設置について</p>	<p>1 中ノ池地区には約2,300人もの多くの有権者がいるにも関わらず、未だ投票所がないため、多くの住民から中ノ池地区内の投票所設置を求める声を聞いている。これまで再三にわたり中ノ池集会所の投票所指定を求めているものの、駐車場や建物内の広さ、入口の数等、事実と異なることを理由として投票所の指定を拒まれている印象であるが、中ノ池集会所への投票所指定の考えについて問う</p>	<p>(1) これまでの投票所指定の考えを改め、4月に執行予定の東海市長選挙から中ノ池集会所を投票所として指定する考えはいかに</p>	
<p>6 分限免職処分について</p>	<p>1 佐賀県では、地方公務員法に基づき、令和6年2月29日付で職員2人を、能力不足を理由に分限免職処分としているが、本市における職員の執務状況に対する市民からの苦情等の受付状況及び分限免職処分の考え方について問う</p>	<p>(1) 過去5年間における職員の能力不足に起因する市民からの苦情の受付状況はいかに。また、当該職員の処分を求められた事例はいかに  (2) これまで本市において、佐賀県の事例と同様、能力不足により分限免職処分を行った事例はいかに。また、現時点において、分限免職処分に相当すると考えられる職員の有無はいかに</p>	

7 市長との面会等について	1 これまで再三にわたり市長に対し、直接要望事項を伝えるため面会を要請するほか、電話の取り次ぎを求めてきたが、一向に対応されないため、その理由を問う	(1) 市長との面会要請及び電話の取り次ぎについて、対応しない理由はいかに	
8 中ノ池護岸改修工事について	1 長年、中ノ池護岸改修工事を実施しているものの、近隣住民に十分な説明がないため、工事の進捗状況も分からず、不安の声が出ているが、今後の説明会等開催の考えについて問う	(1) 工事の進捗状況及び今後の計画等について近隣住民を対象とした説明会を開催し、現在の状況等を周知する考えはいかに	